

- 18. 農山村の講がもつ老人クラブとしての機能……………実践女子大学 福田 邦 三
- 19. 老親の生活様式と余暇活動……………中央大学 那 須 宗 一
- 20. 老人福祉の一類型としての家庭奉仕員(中間報告)……………東洋大学 塚 本 哲
- 21. ナーシングホームの実態について……………十字の園 鈴木 圭 二

○特別講演

- 2. 老年福祉学の動向について……………東海大学 大間知 千 代

○特別報告

- 後期壮年層調査の結果について……………厚生省統計調査部 日 井 隆 重

○シンポジウム

- 2. 老人のすまい……………慶長…寿命学研究会 渡 辺 定 徳
- (1) 建築学の立場から見た老人の住い……………日本大学 木 下 茂 徳
- (2) 地域社会における老人のすまい……………慈 愛 園 杉 村 春 三
- (3) 老人の住いとしての養老施設の問題点……………大阪養老院 岩 田 克 夫
- (4) 老人のすまいに関する問題点……………評論家 石 垣 純 二
- (5) 家族制度の中におけるすまいの概念……………東洋大学 塚 本 哲

(調査部資料科)

日本統計学会第30回大会の開催

日本統計学会第30回大会は、昭和37年9月13日、14日の両日、仙台市、東北大学において開催された。この大会では John Graunt (1620～1674) の“Natural and political observation……”の初版刊行から300年記念の意味を含めて、次のような記念講演ならびに共同研究が行なわれた。

記念講演は、中野伊知郎、北川敏男、松川七郎の諸氏によるもので、とくに松川氏の題目は、次のとおりであった。

近代統計学の創始300年——J. グラント「諸観察」(1662年)の意味するもの

また、共同研究のテーマは、“統計学の発達をめぐって”であり、次の諸報告が行なわれた。

- 数理統計学における最近の思潮について……………竹 内 啓・関 谷 章
- 人口統計300年……………館 稔
- 集団叙述論……………水 谷 一 雄

一般報告として数理、社会・経済にわたる31題の研究発表が行なわれたが、それらのうち、人口に関するものとして次の報告があった。

- わが国1890～1920年の出生数と総出生率の推計……………安 川 正 彬
- 最近の人口移動と年齢・産業構造の変化との関係……………上 田 正 夫

(上田調査部長)

第7回国際家族計画会議の開催

1963年2月10日より16日まで、シンガポールにおいて第7回国際家族計画会議(7th International Conference on Planned Parenthood) が開催され、本研究所より研究部第1科長篠崎信男技官がこれに出席した。この会議は40地域より300余名の参加の下に開かれた。会議の総括テーマは Changing Patterns in Fertility である。篠崎技官は第6日目(2月15日)の“人工妊娠中絶の役割, The role of abortion”に関する研究分科会の議長として活躍した。会議の概要については、本誌本号に掲載の篠崎技官執筆の概況報告を参照されたい。